

播磨圏域連携中枢都市圏の主な事業内容 (平成 27 年度～令和元年度)

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに掲げる「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の各分野の連携事業（53 事業）のうち、主な事業について報告するもの。

1 圏域全体の経済成長のけん引

(1) 放射光施設活用促進事業、スーパーコンピュータ活用促進事業

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構との共催による放射光施設ニュースバルの利用実習や、スーパーコンピュータ活用に向けた講習・実習を実施しました。

■放射光施設活用促進事業参加企業：56 社（うち連携市町 21 社）

■スーパーコンピュータ活用促進事業参加企業：13 社（うち連携市町 2 社）



【放射光施設分析実習】



【スーパーコンピュータ利用実習】

(2) ものづくり支援事業

姫路ものづくり支援センターなどを通じて、企業からの技術相談への対応や、播磨で活躍する経営者・作り手などの知識やスキルの向上を図る Harima Brand Labo 事業などを実施しました。

■技術相談件数：8,174 件（令和元年 12 月末現在）



【Harima Brand Labo】

(3) 創業支援事業

姫路商工会議所と共同で創業者ワンストップ窓口を設置し、相談員による個別サポートや各種セミナーを実施しました。

■創業支援事業によって創業した人数：612名（令和元年1月末現在）

(4) 海外展開支援事業

JETRO（日本貿易振興機構）と連携し、海外展開相談事業や海外バイヤー招聘商談会などを実施しました。

■海外展開相談事業相談件数：53件（うち連携市町13件）

■海外バイヤー招聘商談会参加企業：40社（うち連携市町17件）

(5) 企業誘致の推進

企業誘致環境ポテンシャル調査や企業投資動向アンケート調査（5,000社）、企業立地パンフレット作成などを共同で実施しました。

■広域連携による企業誘致の実績：1件

■各市町の企業誘致制度を活用した企業の立地件数：51件（※平成30年度のみ）

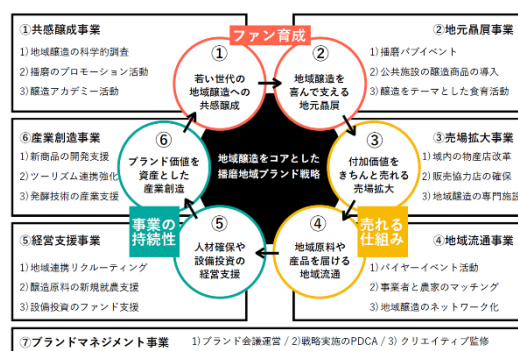
(6) 「播磨地域ブランド」の確立

「豊穡の国・はりま」ブランドを紹介するPR冊子等を作成し、様々な広報媒体を通じて圏域内外へ向けて情報発信を行いました。

平成30年度からは、リブランディングを行い、醸造をキーワードとした「醸す 造る 播磨」のブランド戦略を推進しています。



【醸す 造る 播磨】



【戦略イメージ】

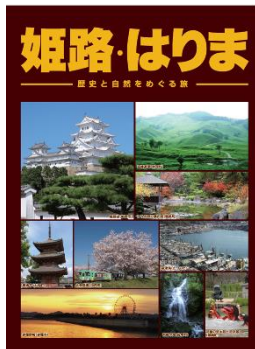
(7) 播磨地場産品販路拡大事業

圏域内外への販路拡大・消費拡大を図るため、圏域内外へのPRの実施や地元特産品PR試食会の開催など、幅広い世代に向けて播磨圏域の地場産品を発信しました。

■主なPR：「豊穡の国・はりま」大物産展開催、まるごとにつぼん出展、全国陶器市への出展、料理通信・あまから手帖との連携

(8) 広域観光連携事業、外国人観光客誘致促進(インバウンド観光の推進)

広域観光パンフレットの多言語による作成や、訪日外国人向け着地型観光プログラムの造成、国内外でのプロモーション活動、旅行エージェントとの商談会などを実施しました。



【広域観光パンフレット】



【訪日外国人向け着地型観光プログラム現地取材】



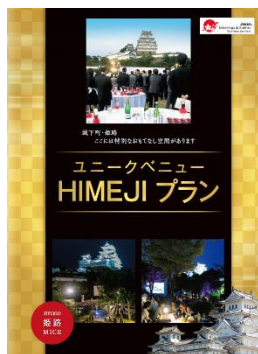
【インバウンド商談会】



【ツーリズム EXPO】

(9) 広域対応型MICE誘致事業

圏域内の MICE 施設の情報共有やコンベンション施設のプロモーション活動などを実施しました。



【ユニークベニューHIMEJI プラン】



【大阪ディステネーションショーケース】

2 高次の都市機能の集積・強化

(1) 医療従事者の確保

医療従事者確保のため、臨床研修医への奨励金貸与や、看護師病院合同就職説明会、医学生向け就業説明会への参加などを行いました。

■臨床研修医奨励金貸与件数：159 件

■看護師病院合同就職説明会参加者数：1,598 名

(2) 姫路駅周辺整備事業の推進

J R 姫路駅東側に位置するコアゾーンの整備や、JR 姫路駅南駅前広場の再整備、（仮称）姫路市文化コンベンションセンターの整備を進めました。



【コアゾーン歩行者デッキの整備】



【文化コンベンションセンター整備】

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1) 新型インフルエンザ等の予防対策と医療機関受診に関する連携事業

新型インフルエンザ等発生時の手順書を作成し、姫路市、たつの市、太子町に居住する高齢者のインフルエンザ予防接種の広域実施を可能としました。

(2) 図書館相互利用促進事業

関係市町が設置する図書館の相互貸出等のサービスを提供しました。また、マイナンバーカードの活用についても推進しました。

■図書貸出相互利用登録者数：26,512 人（令和元年 12 月末現在）

■マイナンバーカードによる図書貸出が可能な市町：5 市町（平成 31 年 3 月末現在）

(3) 若年者等就労支援事業

合同就職面接会等の共同開催、若者や女性への就労支援、インターンシップに力点を置いた圏域内への就職促進などを実施しました。

(4) 移住・定住促進事業

関係市町の移住・定住促進に係る情報を集約したパンフレット作成や、東京・大阪での移住定住フェアへの合同出展などを実施しました。



【移住・定住パンフレット】

4 地方創生推進交付金を活用した連携事業

(1) はりまクラスター型サイクルスタイルの構築

広域観光を促進するため、播磨圏域のサイクルルートをもとめたマップや PR 動画を作成し、情報発信を行いました。



【サイクルマップ】



【PR 動画】

(2) 姫路・石巻縁推進事業

販路拡大、魅力発信に向けて、東日本大震災を契機に交流が深まっている宮城県石巻市と連携し、播磨圏域と石巻市の物産展を実施しました。

(3) 酒米の王様・山田錦を擁する日本酒のふるさとはりまプロジェクト

播磨の地酒のブランド力を強化するため、日本酒ガイドブックの作成や飲み比べイベント、海外ブロガー等のファムトリップを実施しました。

(4) 民間交流からはじまるインドネシアおともだちプロジェクト

経済成長の著しいインドネシアからの誘客を促進するため、ムスリムフレンドリー講習会の実施や、インドネシア国内でのPRなどを実施しました。



【ムスリムフレンドリーメニュー】



【インドネシア国内でのPR】

5 民間事業者との連携

(1) イオン株式会社との連携

イオンモール（津田沼、泉南）でのフェア・商談会、各種イベント会場の提供や行政情報の発信等について連携しました。



【イオンとの協定締結】



【イオンでのフェア】

(2) 三井住友銀行・みなと銀行との連携

各市町の課題解決に向けたマッチング、先進事例に関する研究会の実施、移住ローン商品の販売等について連携しました。



【三井住友銀行・みなと銀行との協定締結】



【播磨への移住ローン】

(参考)

連携事業に関する市町担当者へのヒアリング結果

平成 31 年 3 月に連携市町へのヒアリング調査を実施しました。

評価対象※とした 45 事業中 31 事業について「やや満足」以上の評価でした。

満足度(事業数)	主な連携事業
満足(4)	婦人がん（子宮がん、乳がん）検診受診率向上啓発事業 自然災害等対策事業 播磨臨海地域道路網の整備促進事業 職員研修事業
やや満足(27)	—
やや不満(13)	海外展開支援事業 バイオマス産業都市構想の研究 農商工連携の推進 広域連携バス路線網等の維持・形成事業 等
不満(1)	水素社会に向けた取組

※ 高次の都市機能の集積・強化分野については、姫路市が単独で実施する事業であるため評価対象外とした。